



人類に奉仕するロータリー

2016-2017年度 R I 会長

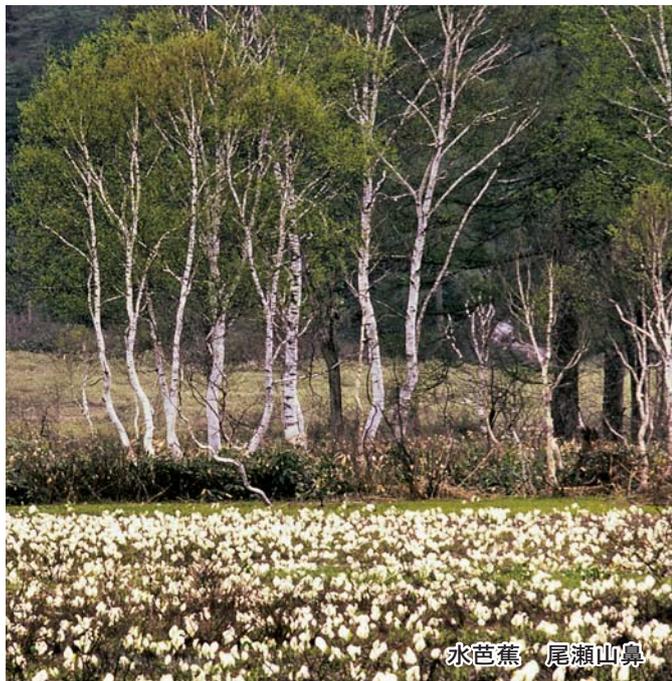
ジョン F. ジャーム

第2720地区ガバナー 前田 眞実  
 第2720地区ガバナー-エレクト 永田 壮一  
 大分第3グループガバナー補佐 小野 哲夫

第2720地区 大分第3グループ  
**別府東ロータリークラブ**

例会日：毎週木曜日 12時30分  
 例会場：別府市観海寺 杉乃井ホテル  
 事務所：別府市西野口1番1号  
 〒874-0931 (青山通りビル3階)  
 TEL (0977) 23-9000  
 FAX (0977) 23-9019  
 E-mail: info@beppu4rc.jp  
 http://www.beppuhigashi-rc.jp/

会長 竹内 孝夫 幹事 一力 秀次  
 広報委員長 瑞木 一博



水芭蕉 尾瀬山鼻

# 第1822回例会

VOL. 38-No. 40 2017年5月18日

## — 青少年奉仕月間 —

- 点 鐘 18時30分
- ロータリーソング 君が代・我らの生業
- 唱 和

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

- ビジター 竹中休義 (大分)、林 昭三、日名子祐一 (大分中央)、後藤謙治、村上有紀、馬ヰ昌実、西岡 透 (別府)、高橋善巳、首藤 誠、金本龍生、鈴木義孝 (別府北)、西馬良和 (別府中央)

- 会長の時間 会長 竹内 孝夫  
 皆さん、こんにちは。会長の時間です。  
 本日は工藤晴生・工藤陽一両会員の新会員卓話です。

その関係で、2人にたっぷり話していただくので会長の時間を短くいたします。

しかし、うちの会員で3名の工藤さんという姓は珍しいですね。

<b>■ 出席報告</b>		委員長 山下 唱徳		
本 日	会員総数	40名	ゲスト	0名
	出席数	21名	ビジター	12名
	欠席数	12名	出席率	63.64%
前々回の出席率		61.29%	修正出席率	74.19%
		100% 通算		1578回
出席規定免除(b): 岩瀬、黒岩、神田、加藤、西、坂本、箕作				
名誉会員: 西村				
<b>■ メイクアップ</b>				
事前 荒金 (別府北)				
事後 (第1820回例会) 但馬、中塚 (別府)				
<b>■ 欠 席</b>				
安部、羽田野、石田、笠木、中塚、岡本、高橋、但馬、梅津、渡辺、瑞木				

又、そのうちの2名が新会員。本日の卓話、期待しております。

さて、6月17・18日の台北昇陽RCの15周年式典に行ってみます。

現状10人くらいと思いますが、皆さんご存知のように前回の台北訪問で姉妹クラブ契約締結の中身が変わり、両クラブの公式訪問は5周年毎、5年毎の契約更新となります。

よって、今回の訪問は相手の15周年となりますが、次回の公式訪問は2年後の別府東40周年に台北昇陽RCメンバーが別府に来ます。

次の台北訪問は5年後になります。

私は2月・4月・今回6月と今回2ヶ月毎に台湾に行っていますが、今回の訪問後の公式訪問は5年後になります。

ですから、行ける会員の方は、出来るだけ今回行って欲しいと思います。

手続き的に厳しいと思いますが、お願いいたします。

又、改善委員会において、公式訪問はクラブ正式行事でありますから、クラブからの補助金も検討しています。

ぜひお願いいたします。本日は以上です。

## ■ 幹事報告

幹事 一力 秀次

本日は、ロータリー財団事業「ポリオ撲滅」の為に用途指定寄付積立てに向けた『1500円ランチ』（第11回目）を実施します。会員皆様方のご協力をお願い致します。

1. 第11回定例理事・役員会報告（平成29年5月11日（木）11：45～於杉乃井ホテル 11名出席）

### 審議事項

1号議案) 2016-2017年度後期立替金請求の件（5月12日付） \*承認

2号議案) R I 第2720地区「2720Japan O.K. ロータリーEクラブ（仮称）」認証状伝達式開催と登録出席の件

日 時 2017年6月18日（日）  
11：00～認証状伝達式  
12：10～祝宴

場 所 大分オアシスタワーホテル5F  
登録料 10,000円

\*同日、姉妹クラブ締結再調印式典出席の為、会長・幹事以下主要メンバーが台湾を訪問中で不在。回覧にて希望出席者を募る

3号議案) 職業奉仕委員会より「職場例会」開催の件

日 時 平成29年6月8日（木）12：30～  
場 所 大分みらい信用金庫本店4Fホール  
\*駐車場は、近鉄跡地コインパークを利用（個人負担）

4号議案) R I 第2820地区稲本修一氏からの「ひろくを救う会」募金協力依頼の件

\*全会員1,000円の協力承認。それ以上の募金協力の希望額を回覧にて募る。1500円ランチを実施して2万円分（1回実施の場合）を上乗せすることも検討

5号議案) 2017-2018年度委員会構成の件 \*承認

6号議案) 「会長・幹事慰労会」開催の件  
日 時 平成29年6月29日（木）18：30～  
場 所 ホテルサンバリーアネックス  
会 費 10,000円

7号議案) 渡辺一郎会員の新事業所完成に際し「お祝い」スタンド花1本寄贈報告の件 \*改善委員会にて「慶事規定（案）」を作成し、理事会へ提出することを承認

8号議案) 「第12回定例理事・役員会」を「新旧（引継）理事・役員会」とする件 \*承認

9号議案) 第67回「社会を明るくする運動」標語パネル購入協力依頼の件  
1枚 2,000円（5月16日迄） \*回覧にて購入希望を確認

### 確認・報告事項

○「近隣7RC親睦ゴルフ大会」収支報告

○青少年奉仕委員会報告

「別府東RC出前授業」\*今年度、8/27・9/9・10/28の3回、書道教室を実施

○例会スケジュールの確認

### 【5月＜青少年奉仕月間＞】

5月4日「法定休日休会」

11日「新会員卓話」

中村忠孝・羽田野 徹 各会員

12：30～杉乃井ホテル華館「さくら」

18日「新会員卓話」

工藤晴生・工藤陽一 各会員

12：30～於ホテルサンバリー（1500円ランチ）

25日「羽田野徹会員歓迎会」

18：30～ホテルサンバリー「まるや」

\*創立記念日（5月24日）に因んで歴代会長によるスピーチを企画

### 【6月＜ロータリー親睦活動月間＞】

6月1日「ゲスト卓話」 千壽智明氏

12：30～杉乃井ホテル華館「さくら」

8日「職場例会」

12：30～於大分みらい信用金庫本店4Fホール

15日「第5回クラブ（新旧引継）協議会」

22日「ロータリー勉強会例会」

12：30～於ホテルサンバリー（1500円ランチ）

29日「会長・幹事慰労会」

18：30～ホテルサンバリーアネックス

### 2. 例会変更のお知らせ

○大分1985RC：5月29日（月）の例会は『クラブ内研修会』の為、同日12：30～大分コンパルホールに場所変更

○中津中央RC：5月30日（火）の例会は『職場訪問

例会』の為、同日12：30～東九州龍谷高校男子寮  
に場所変更

○大分RC：5月30日(火)の例会は『定款第8条第  
1節(C)により休会』

3. 次週(5月25日)の例会予定

「羽田野 徹 会員歓迎会(創立記念日5月24日)」

※18：30～ホテルサンバリーアネックスにて開催  
します。「創立記念日に因んで」歴代会長の卓話  
後「歓迎会」となります。時間・場所等、お間違  
えのないようご注意ください。多数のご出席を  
お願いします。

4. 本日の回覧 ①「新会員(羽田野 徹会員) 歓迎  
会」出・欠席(5月25日) ②2720JapanO.K.ロー  
タリーEクラブ(仮称)RI加盟認証状伝達式登録  
申込み ③第67回「社会を明るくする運動」標語  
パネル購入協力申込み ④RI第2820地区 稲本  
修一氏から依頼の「ひろくを救う会募金協力」  
追加申込み \*第11回定例理事会にて全員1,000円

の協力が承認されました。それ以上の募金に協力  
いただける方は、追加金額をご記入願います。

⑤杵築RC週報 ⑥ハイライトよねやま206

5. 本日の配布 ①週報No.1821

■ お祝い

結婚記念日 荒金 信治会員(5月20日)

\*ご自宅に特選豊後牛肉をお届けします。

■ ニコボックス

委員長 山下布美代

○檀上陽一会員 皆様ご愛読の「今日新聞」は来る  
5月23日で紙齢20000号を迎えます。昭和29年  
11月25日に発刊、今年で63年になります。今後  
とも何卒よろしく御指導御鞭撻賜りますよう  
お願い申し上げます。3口!

○尾方義頭会員 会長からのご指摘もありました  
が、ソングリーダーとしての上達を願ひまして、  
努力してください。2口

## 新 会 員 卓 話



会 員  
— 工 藤 陽 一 —

新入会員の工藤陽一です。  
本日は、卓話という形で諸  
先輩方々の前でお話をさせて  
頂きます。

拙いとは思いますが、最後  
まで宜しくお願い致します。

昭和46年12月11日(45歳)別府市生まれ。鶴見台  
中学校、鶴見丘高等学校(42回生)、福岡大学・法学  
部・経営法学科、卒業後2年間サラリーマン。25歳  
時に結婚で帰別。現在に至る。家族は妻・二女。  
趣味は、料理と、テニスを週に1,2度。

仕事は、青果卸売をやっております。主に、別府  
と大分の市場から仕入れまして別府・日出近郊の  
お得意先に卸させていただいております。

特殊品等は、太田・築地市場の取引先からも調達  
しております。

主要な得意先は、ホテル・旅館・病院・老人保健  
施設・学校等です。入会のおかげでホテルサンバ  
リー様ともお取引開始できました。笠木さん、いつも  
ありがとうございます。(今日も来てませんね)

基本、個人向けの小売りはしていません。メン  
バーの方からのご依頼は喜んで対応させていただきます。

さて、簡単に自己紹介と仕事のことをお話しさせ  
て頂きましたが、ここからは少し掘り下げてお話  
させていただきます。

弊社の創業は昭和46年に石垣にて義父が創業いた  
しました。文字通り八百屋という感じで、青果から  
食品、雑貨迄取扱いをしていたようです。

その後、餅ヶ浜寿屋開店時にテナント出店し、  
青果専業になり、小売り・卸との今風に言えばハイ  
ブリットですね…業態になりました。2002年に寿屋  
の破綻があり、小売りから撤退し、卸専業の現在に  
至ります。昨年の6月に事業承継致しまして、まだ  
まだピカピカの社長1年生です。

私は公務員の家庭で育ち、結婚を機に義父の会社  
に転職致しました。もともとサラリーマン生活は  
向いてないと感じており、当時、都市銀行や証券  
会社の破綻が相次ぎ、これからの時代大手だから  
安泰という時代では無くなったこと、また、地元  
別府が好きなので帰って商売の世界に転じよう  
と思ひこの世界に入りました。

最初、何が大変であったかといえ、やはり早起  
きですね! 元来、夜型の生活でしたし、仕事は早出  
する位なら遅くなくても残業して片づけたいタイプ  
でしたので早起き必須は堪えました。流石にもう  
すぐ20年ですので、慣れで今は大丈夫ですが…。

通常5時に出社しメール&FAXチェックし大分  
市場に向かい、仲卸と仕入の打合せ。平日、5時  
には車の運転するので夜のお誘いは火曜日か土曜日  
にお願いします!その後、6時半ころには別府市場  
に戻り下見。7時から野菜の競売、8時から果実の  
競売になります。その後は、ホテル・旅館等へ納品  
をしつつ商品の動向やメニュー提案をします。

仕事柄、多くの料理人と関わらせて頂いています  
ので、趣味の料理にプロの技をふんだんに使わせて  
もらっています。

さてここからは競売についてお話いたします。

競売は原則競り上げ方式で行われます。最高値を  
提示した者に権利が与えられます。

一般的なオークションと同じですね。

ここで、日頃接する機会が無いでしょうから、競売時の符牒についてお教えしましょう。

1. 2. 3. 4. 5. …若かりし頃にやんちゃした方がいらして5出しても45にしかならないという笑えない話も有ります…。6. 7. 8. 9…皆さん、7が好きでしょ！ 15・25等はこのように。22・33等ぞろ目はこの様に示します。

少し話を真面目な方に。商品性質上、気候の影響を受けやすく良い品を安くお届けできることがいつも出来るわけではありません。ここ数年、温暖化の影響を疑わざるを得ないケースがしばしば起きています。それは以前より産地のリレーがスムーズに行かないケースが増えてきていると感じます。特に9月～10月前半にかけて感じます。

時節柄、台風の影響も多いのですが、例示しますと、レタス等の葉菜類。夏場は高冷地で生育しやすい信州産がメインで、秋口から九州島内産に移行してきます。このリレーががスムーズに行かなくなって毎年全国的に品薄になります。1玉・150円が翌日には300円、翌々日には500円などというレベルです。

これは、信州産の終わりには九州産が出来、供給量を補完し合うことが出来ずに全国的に品薄になるパターンです。

猛暑過ぎて九州産の定植が以前より遅れがちになっている現状が考えられます。人間が熱中症になるような時に、弱い野菜の苗を植えても育たないのは想像に難くないですね。

そういう品不足の時でも如何に得意先様に負担を掛けずに商品を確認するかが醍醐味でもあります。その為にも、情報網と人脈を日頃から培っていくよう

に心がけています。【有りません】というのは簡単ですが、プロとしてそれは言いたくありません。

某ドラマでは『失敗しない外科医』が人気のようですが『仕入れに失敗しない八百屋』でありたいものです。ちなみに請求書にメロンは付属していません。

最後に、妻の事を少しお話させていただきます。

本日弊社の宣伝材料は無しですが、妻の宣伝。資料を見ながら結構です。

妻は、小学生の時に犯罪被害（性被害）に遭い、3年前より実名公表し全国で講演活動をする傍ら、加害者にも被害者にもならない為の性教育講座等を開講しています。

ご覧の『大分合同新聞』他全国紙の新聞（来週、朝日新聞の取材があるそうです）、雑誌『女性自身』等にも掲載頂き、各県警本部・行政・学校関係等で講演させていただいております。

去年は、京都（行政）・北海道（行政）・山形（行政）・山口（県警）・徳島（県警）・鹿児島（県警）・熊本（行政）県内各市町村、教育委員会等（高校・中学・小学校）でお話させて頂きました。今週も昨日まで東京に出張しておりました。

ナイーブなテーマを扱っていますが、悲しい・暗い話一辺倒ではない明るく前向きになれる内容だそうです…拝聴者の感想らしいです。実は私は聞いたことがありません。多くの方にお話させて頂きたいと考えていますので、機会が有りましたら宜しくお願い致します。

拙い内容でしたが、最後までご清聴ありがとうございました。今後とも諸先輩方にご指導頂き、ロータリー活動を通じ自己成長に努めていきたいと思っております。ありがとうございました。

資料：掲載紙（抜粋） 左上《大分合同新聞》、右上《女性自身》、右下《女性自身》



★詳細は『工藤千恵』で検索



会 員  
工藤 晴生

『葬儀業を営んで思うこと』

今年1月より、入会させていただきました。工藤晴生と申します。職業分類は葬儀業でございます。

今日は新会員卓話ということで、なにをお話ししようか考えておりました。最初は自己紹介をさせて頂こうと考えておりましたが、私の自己紹介をしても会員の方の貴重な時間の自己研鑽にはならないかなと思ひまして、私が営んでおります葬儀業を通じて思うことや、感じた事を踏まえながら、最近テレビなどで取り上げられております終末活動、略して終活についてお話しさせていただきます。

私は職業柄、人の死と間近に接し、そのご家族や亡くなられた方に関わるいろいろな方々と接する機会が多く、そこからいろいろなことを学ばせて頂いてきたと思ひます。そこから学んだ1つに、人は遅かれ早かれ必ず死を迎えるということです。言い方が悪いかもしれませんが、人は生まれてこの世に生を受けた瞬間から、すでに死へのカウントダウンが始まっているのかもしれない。なかなか若くて元気なうちは自分が死ぬことなど日常考えもしないのですが、こればかりは現代の医学をもってしても逃れられない現実なのだと思います。人の亡くなり方も様々で、100歳まで生き続けた方もおられれば、幼少期に不治の病で亡くなる方、不慮の事故でお亡くなりになられる方など、人が無くなるケースは様々で、言い方を変えれば自ら命を絶つ事をしなければ、死を迎える時期を自分では原則決められないものだと思います。普段元気で明るく過ごしていても、明日にはもしかすると死んでしまうかもしれない。そう考えるととにかく切ない気持ちにもなりますが、逆にそう考えることによって1日1日を大切に過ごしていかなければならないという自覚も生まれてくるような気がします。なかなかその考え方を前提に日々生活することは難しいのですが、自分自身でどこか頭の

隅にでもそのことを意識するように心がけていきたいと思っております。

また、私の仕事は主に亡くなられた故人をお弔いするお手伝いをさせて頂くお仕事なのですが、その際にご家族の方といろいろなお話をさせて頂くことが多く、その際に良く話題にあがるのが、亡くなった故人の遺志についてのお話があります。若いうちはそのようなこと考えもしませんし、最近はお子息に当たる方と同居されている方も少なく、県外に出られている方も多いため、なかなかお話する機会も少なく、また元気な頃にそのような亡くなった後の話をすることもなく、まして病気などで入院されるとなかなかその話題には触れられなかったが、今になって考えるとそのような話をしてあげれば良かった、というようなお話をよく聞きます。残された家族の方はそのことが心残りであったり、不安な気持ちにさせられているような様子を数多く拝見してきました。それをふまえて、最近では死んだあとのことを、あらかじめ伝えておくことで、残された家族の負担や不安を軽減する活動をされる方が増えてきているとお聞きします。これは単に自分の意思を残された家族に伝えるということだけではなく、自分にとっても人生を振り返る機会にもなって、今後の生き方の参考にされている方も多いそうです。なかなか自分の死んだあとのことを家族に残すのは照れ臭いところもありますが、それが今後の自分の生き方の道しるべの1つと考え、元気なうちに残しておくことと良いのではないかと思います。

最後に、よくお葬儀に来られるお寺の方がよくご法話でお話しされるなかで「人は必ず死にます。それがいつかはわかりません。あなたが先か私が先かもわかりません。常に死とは隣合わせなのです。ですから日々、この世に活かされていることに感謝して生きていくことが大切なのです。」とお話しされるお寺様がおられます。私もこの事を念頭に置いてこれからも頑張っていきたいと思ひます。ご静聴ありがとうございました。

家族葬から社葬まで心のこもったおもてなし  
**(有)泉都葬祭社**  
別府市光町12番25号  
TEL. 24-1015 (24時間受付)  
「もしもの時にお傳な5つの特典」  
たんぼほの会 会員募集中!

愛する家族のための  
エンディングノート

*Ending note*

name

はじめに

生きとし生けるもの、いつか必ず死は訪れます。

私たちは長い間、縁起や不安から、避けられない「確かな事実」から、目をそむけてきたように思ひます。

しかし、最近では、自分の終末期におけるさまざまな事柄についての要望や方向性を前向きに考える人が増えてきました。

本書は、これまでの人生を振り返り、介護が必要になったときのこと、また自分の最後を飾る葬儀の内容等において、自分の希望や考えを記入できるように作成しております。

文字にすることによって、自分の気持ちが定まり、そこはかど(あった不安もなくなっていき、自分らしい人生を統括するために、なにをしておかなければならないかが明確になってきますし、その意思は、のこされる家族にもきっと伝わると思ひます。

本書を記入いただき、自分のエンディングプランを完成させることによって、自らの歩む道筋を検討していただけの一助として活用いただければ幸いです。

私のこと 自分についての基本的なことを書いておきます。

氏名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 生まれ

血液型 \_\_\_\_\_ 型

出生地 \_\_\_\_\_

本籍地 \_\_\_\_\_

父親の名前 \_\_\_\_\_

母親の名前 \_\_\_\_\_

学 歴 \_\_\_\_\_

小学校 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 年入学～ \_\_\_\_\_ 年卒業

中学校 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 年入学～ \_\_\_\_\_ 年卒業

高等学校 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 年入学～ \_\_\_\_\_ 年卒業

大学・その他の学校 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 年入学～ \_\_\_\_\_ 年卒業

スポーツ・学芸 \_\_\_\_\_

